

★基本的な4種類のページのリンクの説明です。

目次 Contents

① はじめに 1

② 取説 2

③ 年表 3

④ 本書に登場する各県のシンボルマーク 21

北九州 22

1. 製鋼所 (修繕工場・旧鍛冶工場) 23

2. 博多ポートタワー 25

3. 福岡銀行本店 26

4. 福岡タワー 26

5. 旧住友銀行若松支店 26

6. ヤオクドーム 27

7. アタロス福岡 27

8. ヒルトン福岡シーホーク 28

9. 九州国立博物館 28

10. アイランドタワー・スガクイタワー 29

11. JR小倉駅 30

12. 小倉競馬場 31

13. 北九州国際会議センター 31

14. 北九州立大学国際環境工学部 32

15. 北九州イノベーションギャラリー 32

コーヒーブレイク①

福岡 34

1. 三池炭鉱・資源塔 35

2. 博多ポートタワー 35

3. 福岡銀行本店 36

4. 福岡タワー 37

5. 福岡県立総合ホール 37

6. ヤオクドーム 38

7. アタロス福岡 39

8. ヒルトン福岡シーホーク 40

9. 九州国立博物館 41

10. アイランドタワー・スガクイタワー 42

11. 博多シティ 43

佐賀 44

1. 筑前川原遺構 45

2. 鶴島病院 45

3. ベストアメニスタジアム 46

4. 佐賀県立宇宙科学館・ゆめぞんが 47

5. 吉野ヶ里歴史公園・古代構造物 48

6. エコムスファクトリー 49

7. 菊田町庁舎 49

8. 各県造船所・船舶修理工場 50

9. オーザー技研株式会社・九州支店 51

コーヒーブレイク②

★目次

① 目次から各主要ページに移動できるようになっています。関連する文字をタップ (クリック) してください。

② 各市・県名称をタップ (クリック) すると各市・県のトップページに移動します。
※目次の構造物名称をタップ (クリック) してもページには移動しません。

北九州

担当者: 新日鐵住金 (株) 八幡製鐵所, 委優子 (北九州市立大学), 尾宮洋一 (鹿島田中興久 (福岡大学))

1. 官宮八幡製鐵所 修繕工場・旧鍛冶工場・日本事務所・東田第一記念高炉

2. 都嶋灯台

3. 旧住友銀行若松支店

4. 南河内橋

5. 若戸大橋

6. 西日本総合展示場・本館

7. 飛騨ビル

8. 北九州 六生ドーム

9. 北九州メディアドーム

10. JR小倉駅

11. 小倉競馬場

12. 北九州市環境ミュージアム

13. 北九州立大学国際環境工学部

14. 北九州イノベーションギャラリー

15. Table of Contents

7. Google Map

8. Coffee Break

9. Coffee Break

★各市・県表紙

⑥ 各市・県表紙の構造物名称をタップ (クリック) すると各構造物のページに移動します。

⑦ 「Table of Contents」をタップ (クリック) すると目次に移動します。

⑧ 「Google Map」をタップ (クリック) すると、Google Map アプリ (PC の場合はブラウザにて Google Map サイト) が起動し、「九州の鋼構造物 歴史散歩」全構造物の位置関係が確認できるマップが開きます。

⑨ 「Coffee Break」をタップ (クリック) すると閑話ページに移動します。(ない場合もあります)

年表 Timeline

③

年	1857	1858	1859	1860	1861	1862	1863	1864	1865	1866	1867	1868	1869	1870	1871	1872
九州の歴史	4	5	6	7	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4	5	
鋼構造物の歴史																
鋼構造物																
県・市名																
掲載頁														63		26

④ ★

⑤

3 The guidebook of historical steel structure in Kyushu

★年表

③ ここをタップ (クリック) すると年表の最初のページに移動します。

④ ★マークをタップ (クリック) すると目次のページに移動します。

⑤ 構造物名称をタップ (クリック) すると各構造物のページに移動します。

福岡 Fukuoka

明治日本の産業革命遺産 製鉄、鉄鋼、造船、石炭産業・ユネスコ世界遺産

1 日本の近代化を支えた炭鉱遺構 三池炭鉱・宮原坑 施設 HP

大牟田市宮原町 1-86-3

鋼製構高さ: 21.33m

竣工年月: 1901年11月

2 鋼構造リベット接合の中では九州一高さを誇る 博多ポートタワー 施設 HP

福岡市博多区築港本町 14-1

設計: 内藤多仲

高さ: 100m

構造: 5層

竣工年月: 1964年

本建築物は、タワー設計第一人者の内藤多仲博士が手がけたタワー六兄弟の六男っ子である。ちなみに、兄らは、建設順に、名古屋テレビ塔 (長男)・通天閣 (次男)・別府タワー (三男)・さっぽろテレビ塔 (四男)・東京タワー (五男) となっている。規則正しく打ち込まれたリベットにより接合された鋼部材からなるむき出しの骨組構造は、現代建築には無い強さと美しさを感じることができる。また、タワー六兄弟のうち唯一入場料無料であることも魅力的だ。外観を見学した後は、地上70mの位置にある展望台から360度の大パノラマで、博多湾や福岡市街を一望してみたいかでしょう。(田中照久)

35 The guidebook of historical steel structure in Kyushu

★各構造物紹介ページ

⑩ ここをタップ (クリック) すると各市・県表紙に移動します。

⑪ ★マークをタップ (クリック) すると目次に移動します。

⑫ 住所をタップ (クリック) すると、Google Map アプリ (PC の場合はブラウザにて Google Map サイト) が起動し、構造物の位置が示されます。

⑬ 「施設 HP」をタップ (クリック) するとブラウザが起動し、構造物 (施設) のホームページに移動します。(ない場合もあります)

⑭ 竣工年月をタップ (クリック) するとその年代の年表ページに移動します。

⑮ 本文中の水色の文字はタップ (クリック) すると、ブラウザもしくは Google Map が起動し、関連ページが開きます。